

G3 のツイッター その53

烈剛河内 竹井 保満

自分では年寄りの実感が余りありませんが、90歳になると体も頭も動きが鈍くなるようで、大きな車に乗るのはそろそろ止めたらと、身内から忠告がありました。

高齢者のドライバーの事故はマスコミで取り上げますが、総務省統計局の調べでは、高速道路での逆送は年寄りが多いですが、アクセルとブレーキの踏み間違いは18歳から29歳までは約10万件に対し70歳以上では約7千件なので、年寄りに限らず皆さん事故を起こしています。

国を挙げて省エネ、自動運転の自動車作りに力を注ぎ早く完成させてほしいと思います。

30年ほど前に、有志7名と中国の万里の長城の調査と称して、長城の西端の玉門関から東の端の山海関まで、凡そ7500^{キロ}を走破しました。

その時に乗ったのが三菱自動車のパジェロでした。その車の走行距離のメーターは30万^{キロ}を越えていましたが、道なき道を2ヶ月間も故障なく走破しました。この堅牢頑丈さに惹かれてパジェロに乗って居りましたが、大きな車に乗るのを止めて、軽乗用車に乗り換える事にしました。

山や川に良く遊んでくれた今のパジェロは本当に良い相棒でした。別れるときは機械とは言え、愛着があったので涙がこぼれそうになりました。

今お世話になっている老人ホームは、300^{センチ}の高台にありますので、何か行動を起こすには車が必要です。病人なら致し方ありませんが、ホームに籠りきりは出来ませんので、衝突防止、人身事故を防止する機能が付いた軽自動車を購入しました。軽自動車なのに便利な機能が沢山付いていて、完璧に使いこなすのに時間がかかりそうです。

ついに卒寿を迎えました。

ホームの食事は玉石混淆ですので体に悪いと分かれば勿体ないけれど食べない事にしています。戦中戦後の食糧難、特にシベリヤ抑留では3年間も飢餓に苦しみましたので、罰当たりの我儘ですが、許して頂いて、体に良い物を選びトレーニングに励み、怠れずすぐに離れていく筋肉をつなぎ留め、暑さにめげずアスリートとして大還暦を目標と秋を待っている心境です。